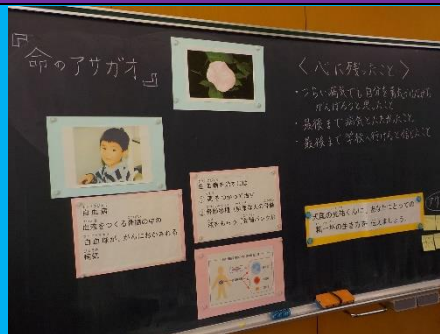


夢に向かって やさしく かしく たくましく

夢が丘小学校「命のプロジェクト」

【5年生】 【道徳】

『命のアサガオ』 道徳の授業から



夢が丘小学校は、東京都道徳教育推進拠点校として、「特別の教科 道徳」の先行実施と授業改善、評価の研究などを進めています。5年生は「命のアサガオ」という教材を通し、「かけがえのない命を大切にし、精一杯生きようとする心情」について考えました。幼い時に白血病にかかり、骨髄移植を待ちながら懸命に7年間の人生を生きた丹後光祐くんという男の子の実話。授業では天国の光祐くんに宛てた手紙を書く活動を通して、「自分事」として命と向き合いました。実際にお話に登場する「アサガオ」の種を送っていただき、手に取って実感を高めました。アサガオの種は夢が丘小学校と教育センターの花壇に蒔きました。

児童の「道徳ノート」から

- 世界には病気で苦しんで精いっぱい生きている人がたくさんいることが分かりました。(5年女子)
- 日ごろ「家族に会いたい」と強く思うことがなかったけれど、お話を読んで会いたくなった。(5年女子)
- 「走る」「遊ぶ」「勉強する」当たり前のことでも精一杯頑張らなければ、と思った。(5年男子)
- 自分たちは元気で過ごしているけど、病気で苦しんでいる人がいることを考えたい。(5年男子)
- 「生きているのは当たり前」という考えに対して、「当たり前じゃないよ」という意見が出た。自分もそうだと思った。(5年女子)